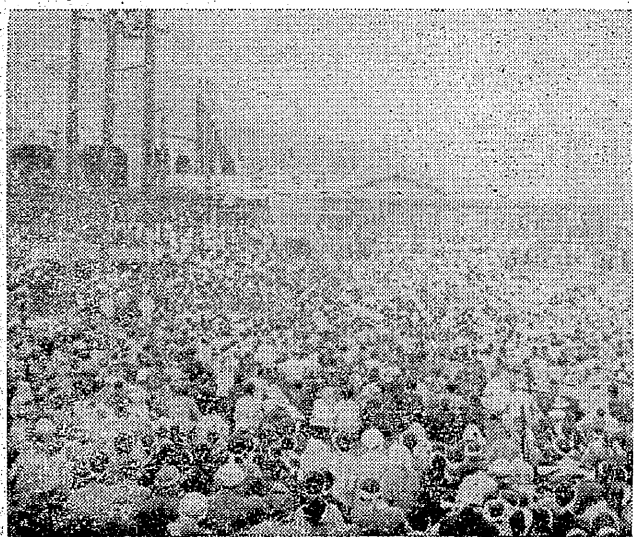
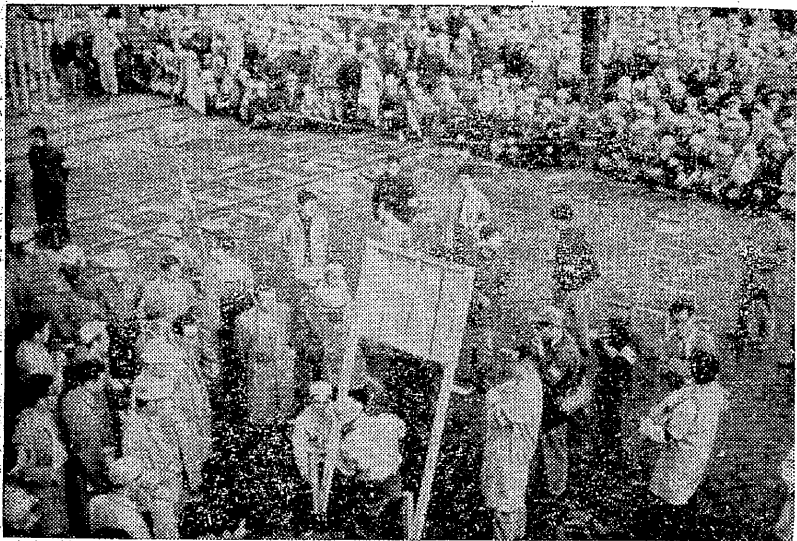
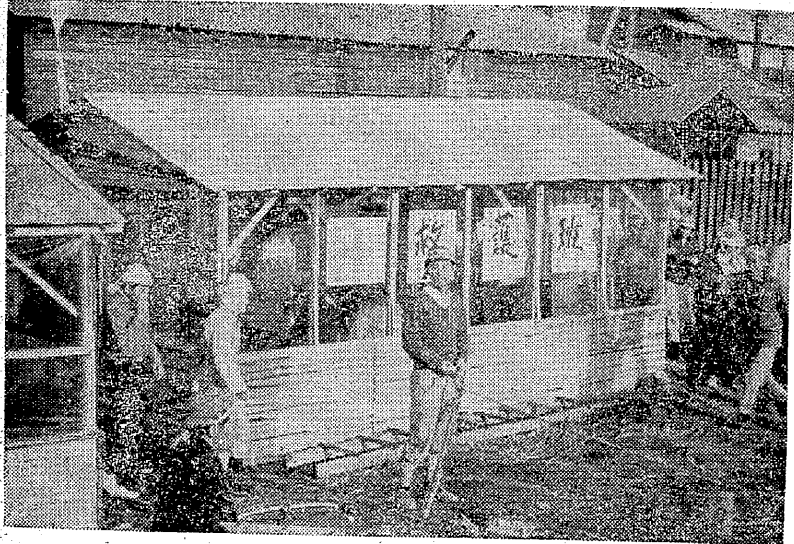




雨の棒コンに上頭

ますます深まる勝利の確信

【1】梅雨の多い、三池支援の高まりのなかで、勝利への確信はいよいよ不動のものとなった。反面闘争切崩しは警官隊をおし立てて気違いじみた暴行となり、彼らが焦りをいかになくさけ出してきたメーデーらしい今日までの大きな出来事を写真で追ってみよう。

【2】闘争が緊迫するに従ってオ

ルグも急増したが、四日・五日とつづけて民医連と全医療の医師、看護婦さん三十八名がかけつけ救護班として活躍している。

【3】五日組合の監視隊は官浦鉾南新開にある排気壁坑横の岸壁に会社の船がダイナマイトを荷揚げしているのを発見、直ちに取押え、警察側を呼び出して法違反を迫及した。

【4】ホッパ―仮処分決定で、七日執行吏を先頭に立入り禁止の立札を建てにきた。午前中は総評弁護団から手続きの不備を指摘され引返し午後からやつと建てた。

【5】国際自由労連が三池闘争を支援のため、国際鉱夫連盟のカンチ・メータ氏を現地派遣、同氏は六日來山九日まで現地調査した。

【6】九日部落解放同盟三千名がホッパ―前に集まって、「三井鉾山・第二組合差別糾弾」大会をひらき、大会で第二組合に抗議をおこなった。

【7】九日われわれの側のすぐれた芸能人である大空ヒット・美空マスの一行が現地慰問のため來山。各地域で感謝の拍手を浴びた。

【8】十日三井鉾のホッパ―とともに会社が狙う官浦鉾選炭機で、会社は石炭搬出を企てたが、ピケ隊のために野望が達せられなかった。

【9】十一日福教組では三池支援と安保阻止のため大牟田で総決起大会をひらき、一、五〇〇名が結集した。大会で貸切バスで各ピケ隊・地域をまわって闘争激励し、心こもる慰問袋九〇〇個が配られた。

【10】十一日社会党浅沼委員長らが三池支援のため來山、直ちにホッパ―ピケなどを激励した。

